

研修ニュース

〒518-0814 三重県伊賀市上友生 785 番地

TEL&FAX : 0595 (21) 8839

E-Mail : iga-ken@iga.ed.jp



研修講座 B-11「外国人児童生徒教育①」を実施しました！ 「初めての日本語指導～最新情報をふまえて～」 伊賀市外国籍児童生徒日本語指導コーディネーター 船見和秀さん

5月26日(月)に、「外国人児童生徒教育①」の研修講座を行いました。

船見先生から多くの指導の視点を教えていただきました。ここでは3つ紹介します。1つ目に、「学校全体が日本語を習得する環境であるという意識が重要」ということです。「音で覚えてアウトプット。文字は後でもいいが、『この場面ではこう言うんだ』を増やしていきたい」と話されました。また



日本語を習得するには母語が重要な役

割を果たすという話もありました。日本で生まれ育った外国につながるのある子どもたちが日本語習得や勉強に困難さを見せるのは、母語である言語の習得が基礎となるからということでした。覚えたい日本語は授業中に話型で示し、意見を言う場



を設けることが大切ということでした。

2つ目に日本語学習の支援で留意したいこととして、「習ったことを使って『何ができるか』が大事」「『何をやった』より『何ができるようになったか』」の視点で評価するということです。これは学習指導要領に謳われていることでもあり、とても印象的でした。

最後に「やさしい日本語で伝える」です。ここでは「やさ日3文クッキング」と題して、ペアで「ラーメン」を3文で表現するワークショップを行いました。どの先生方も「ハッキリ・さいごまで・みじかく」の「ハサミの法則」を意識しながら話し合われていました。ご参加いただいた先生方には今後の実践に活かしていただくとともに、各校で還流いただきますようお願いいたします。

アンケートより【一部抜粋】

- ・日本語学習の支援で留意したいこと3選が特に心に残りました。CALP(学習言語能力)を意識し、学習に参加できるための日本語表現を伸ばすことや can do の視点での評価を今後の指導に活かしていきたいです。やったプリントの枚数で評価している自分をふり返りました。【小】
- ・家庭では母語を話し、学校ではたくさんの人が日本語でかかわることが大切だと感じました。日本語の読み方を教えるだけでなく、それを使い活用していけるように考えていきたいです。読めるようになったら、意味が伝わるように教えていきたいです。【小】
- ・わたしの担当する生徒は友だちといつも話しているから、しんどさがわかりにくかったのですが、読めない・書けないという状況です。「ハサミの法則」ややさ日3文クッキングを使って一つ一つわかるように伝えていきたいと思います。【中】
- ・「やさ日3文クッキングがおもしろかった。校内研修でも一度取り入れて「ハサミの法則」に沿った日本語の伝え方ができるようにしたいと思った。通訳の方の確保には限界があるので、「やさしい日本語」で伝えられるコミュニケーションの方法をもっと広めていければと思った。【中】